

## 著者校正に際してのお願いと注意事項

## 著者校正の目的

1. 著者校正は採択された原稿を出版原稿とする際に生じたミスを訂正するための出版プロセスであり、書誌内容の変更を伴う校正ではありません。書誌内容の変更を伴う校正であってはなりません。著者校正は基本的に1回のみとなります。
2. 校正後の原稿の返送はこのお願いを送付後3営業日以内、少なくとも指定する最終入稿期限までに行ってください。返送がない場合は、印刷所による責了をもって最終稿といたします。
3. 書誌データの変更を伴うタイトル・著者の追加・削除（著者順の変更などAuthorshipに抵触する変更を含む）を校正時に行うことは一切認められません。これらの変更を要する場合は再審査となり、原稿版は修正版として差し戻されます。
4. 要旨・キーワード・本文・著者の所属先の移動を伴う変更・Supporting Information・Abstract Graphic等の変更は印刷の誤り、明らかな文法ミス以外、一切認められません。大幅な訂正を要する原稿は再審査となり、原稿版は修正版として差し戻されます。

## 著者校正の内容

1. 著者校正用PDFファイルとしてはJ-Stageに早期公開版(Advanced Online Publication)として掲載されたUncorrected Proofを使用して下さい。
2. Supporting Informationに修正がある場合、ファイルの編集は行いません。ファイルを差し替えるので、修正済みのファイル全体をお送り下さい。
3. 著者校正PDFのページは仮ページとなっております。
4. 掲載情報が不足している箇所は「XXXXXXXXXXXX」と仮表記してありますので加筆をお願いいたします。
5. 訂正・加筆は赤字で明確にご記入ください。
  - (1) Acrobatの注釈機能をご使用の場合：修正位置が明確にわかるようご記入ください。PDF自体の編集機能は使わないでください。
  - (2) スキャン画像を送付する場合：赤ペンでご記入いただいたのちカラーをスキャンしてください。
  - (3) FAXの利用：画像が不鮮明になったり、色情報がなくなったりしますので、できる限りFAXの使用は避けて下さい。使用する場合でも、訂正箇所を大きめに拡大してご記入ください。紙面のマージン5 mm程度は印刷されずに消えてしまいますのでご注意ください。
6. 添付PDF上の指示とメールの文面による指示が相違する場合はPDF上の指示を優先し訂正します。
7. 次の点を重点的に、必ず全文、図、表について確認して下さい。
  - (1) 記号、数式、数式番号、数値、単位表記（SI単位系）
  - (2) ローマン(Roman), 太字(Bold), 斜体(Italic), 太字斜体(Bold Italic)の書体の区別
  - (3) 図
    - a. 内容の訂正  
訂正箇所を明記し、差し替え図面の電子ファイルを提出してください。
    - b. サイズ変更  
「やや」「少し」などの表現は避け、数値で数値を指定してください。たとえば、「幅75 mmに縮小」などです。
    - c. 仕上がりや色：修正するポイントを指定してください。
  - (4) 文中の文献と参考文献
    - a. 文中の参考文献のリンク  
引用順序、番号の欠落がないこと、リストの参考文献との対応を確認してください。
    - b. 参考文献リスト  
全著者、ジャーナル名、巻、開始ページ（年）をチェックして下さい。著者が3名以上の場合、最後の著者の前に「and」が入り、2名の場合は「and」は用いられません。引用が正確であれば、ジャーナル名、巻、および年にリンクが貼られ、青い文字で表示されます。引用が不明または不正確であれば、黒文字で表示されますので修正して下さい。
  - (5) 「執筆・校正チェック表」で再度ご確認ください。  
チェック表は [https://journal.electrochem.jp/doc/checklist\\_ja.docx](https://journal.electrochem.jp/doc/checklist_ja.docx) にあります。
8. 校正を終了しましたら、訂正を要するファイルを [ed.apc-e@electrochem.jp](mailto:ed.apc-e@electrochem.jp) 宛てにご返信下さい。

## 校正・刊行後の取り扱い

校正後、早期公開を含む刊行された論文や補足資料(Supporting Information)に著者の責任に帰する訂正が生じ、編集委員会が訂正を必要と判断するか著者が修正を希望する場合は、Electrochemistry 編集部の承認を経て、追加修正(Additional revision)または独立した論文記事“Correction”による修正が行われます。Correctionによる修正の場合、Editorial Manager から新規の訂正原稿の投稿が必要となります。これらの訂正は投稿規定第4条に基づき、Column 10に定める取扱い手数料または論文掲載料の支払いの対象となります。修正内容が研究倫理上重大な問題があると判断された場合は対象となる論文の訂正ではなく、取り下げ(Withdrawal)または撤回(Retraction)の対象になることがありますので、注意して下さい。